

桂川中学のみなさん、定期考査Ⅳの結果はどうでしたか？でも…

# えっ 今の点数で ほんとに 満足？

5教科400点なら、450点になれるはず。450点なら、次は500点だ。  
素材を集めて武器を強化しモンスターを狩るあのゲームと同じように、いずれ必ず出  
会う強敵に勝つため知識の素材を集め自分を強化する。それが勉強の極意だ。

## 数学・理科編

まずは学校から配布されたプリントの内容をすべてカンペキに理解しておく。それができて初めてスタートラインなのだ。

桂川中学校から配られる数学の「ホリデーワーク」や理科の「学習確認テスト」の内容はカンペキに理解しているかな？ 数学・理科が苦手な生徒は、まずこれらのプリントをやりこむことが大切だ。1回や2回の回数の問題じゃない。理解できるまでだ。

しかし！忘れてはならないのは、それらのプリントは「そんなものは、みんなやっている」ということだ。つまり、プリントをカンペキにして解けるようになっても、みんなも同じように解けるので、平均点前後の得点で終わってしまう。成績でいうと平凡な「3」なのだ。

では平均点以上の点を取りたいならどうすればいいのか？ それは過去問題や応用問題などのプラス $\alpha$ の勉強をして応用問題に正解できる学力を身につけることだ。そのようにして身につけた学力は、高校入試で役立つ強力な武器となる。

## 英語・社会・国語編

暗記モノをいかに早く終わらせるか。文系科目の攻略はこの一言につきる！「暗記できない」人間などいない！

英単語、地名、漢字・・・文系科目は暗記との勝負だ。しかし暗記がすべてじゃない。例えば10コの語句を覚えるのに15分もの時間をかけ、それで「ああ、よく頑張ったなあ」と満足している人はいないだろうか。その時点ですでにアウトだ。10コなら3分でできる。「そんなの無理」と思う人は、暗記の方法がちがっているのだ。この世に暗記の出来ない人間などいない！

同じように、「提出しないといけないから」の理由で試験直前に漢字練習プリントを何時間もやったり、ノートづくりをしたりしているようでは絶対にいい点は取れない。暗記やノートづくりは準備運動。準備運動だけで試合に勝てるのか？

暗記モノなどは短時間で終わらせ、その代わりに十分な時間をとって練習問題をしなければならぬ。そうすることで実際の試験でもあわてず、余裕をもって解答することができるのだ。

桂川中学校1年Aさんの場合・・・（2011年4月入会）

定期考査Ⅳ（11月実施） 数学88点 英語83点 理科85点

定期考査Ⅲ（10月実施） 数学92点 英語83点 理科84点

週2日、各1時間指導で安定した得点。平均点より30点ほど上をキープしているのはお見事。次回の試験ではさらに上を目指して準備をすすめていこう！



阪急桂駅西口徒歩3分